

「よい歯のコンクール」開催 代表は保泉湧大くん・和也さん親子

5月9日、城山保育園にて「よい歯のコンクール」と「ヘル歯教室」が開催されました。

「よい歯のコンクール」は平成24年度3歳児健診で虫歯のなかったお子さんとその親が対象で、今年は8組中5組の親子が審査対象となり、保泉湧大くん・和也さん親子（坂本）が代表に選ばれました。保泉さん親子には6月2日に小川町で開催される比企郡市歯科医師会主催「第18回歯の健康まつり」に参加していただきます。

また、「ヘル歯教室」では、歯科医師の高野実先生による講話「ハブラシいろいろ」と、歯科衛生士さんによるペーパー



ト「ガブガブかいじゅう」や歯磨き指導が行われ、園児たちは自分の歯ブラシを持参して熱心に指導を受けていました。

高野先生のお話では、「歯の健康のためには、楽しく笑いながら過ごすことも大切」とのことです。毎日の生活も歯の健康も、澄んだ心をつくるのが健康な体をつくることにつながっていきます。皆さんも心がけましょう。

白石の神送り ～かぜの神をおくるぞ～

5月12日、白石地区で神送りが行われました。神送りは、厄病払・かぜの神送りとして伝承され、1年間の無病息災を願う、県の無形民俗文化財に指定されている行事です。

当日は参加した人たちのあふれる活気のもと、それに合わせたかのような晴天に恵まれ、意気揚々としたはっぴ姿の行列がみられました。また、行列の途中、ふるさと伝習館分館に合宿に来ていた鬼太鼓座による創作太鼓演奏も行われ、参加した人たちは例年と違った神送りが楽しめたようです。



『復興の (いのち) 未来と生命 照らす水』

第55回「水道週間」
6月1日(土)～7日(金)

梅雨の時期とはいえ晴れた日には真夏を思わせます。そんな時、蛇口から出る水を口にし、暑さをしのぐこともあると思います。

皆さんの家の蛇口から出てくる水道水は、川や井戸などの水が浄水場できれいにされ、水道管をって各家庭へと届けられています。水道の水は炊事・洗濯・お風呂等私たちの生活に欠かせない大切なものです。

村では途絶えることなく安全でおいしい水道水を供給するため、施設維持管理に日夜努力してまいります。時には断水することもあります。緊急時や施設を管理するうえで必要なことですので、ご理解ください。

6月1日から1週間は水道週間です。沢山あるように思える水ですが、私たちが飲める水はほんのわずかです。また、雨が少なく湯水となった場合はなおさらです。皆さんも限りある水のことについて考えてみませんか。

産業建設課 水道担当 ☎82-1222